

SCOUT CHIBA

第90号
スカウトちば

「スカウトちば」は、日本ボーイスカウト千葉県連盟の広報誌です。

2018年7月1日発行

- 1面 第17回日本スカウトジャンボリー開催
2・3面 17NSJ参加に向けて
4面 きじ章受章のご報告・募集活動報告

第17回日本スカウトジャンボリー開催

テーマ 「冒険 ～能登のチカラ未来へ～」



大会シンボルマーク



大会会場・能登半島



17NSJ
会場マップ

第17回日本スカウトジャンボリー（略称：17NSJ）が、8月4日（土）から10日（金）の6泊7日で、石川県珠洲市りふれっしゅ村鉢ヶ崎において開催されます。

この17NSJに千葉県連盟からはボーイスカウト、ベンチャースカウトと引率する指導者636人、大会を支える奉仕スタッフとして団・隊の指導者及びローパースカウト88人、合計724人が参加する予定です。

17NSJ参加に向けて、各隊では訓練に励んでいます



千葉県連盟参加隊Tシャツ

「17NSJ激励の言葉」

千葉県連盟コミッショナー 宇治 隆雄

参加スカウトの皆さん！いよいよ17NSJが目前に迫ってきました。もう準備はしっかりできていますか。

6泊7日のジャンボリーでは色々なことが起こります。ご飯がうまく炊けなかったり、大雨が降ったり、君たちの力を試す場面がたくさんあるでしょう。そんな時に力を発揮するのがチームワークです。班長を中心に様々な困難を乗り越えてこそボーイスカウトです。しっかりと準備をして17NSJが君たちにとって素晴らしいプログラムになることを期待しています。頑張ってください！

ご奉仕をしてくださる指導者の皆様。お忙しい中都合をつけてご奉仕いただき感謝申し上げます。

皆様のお気持ちは必ずスカウトたちに伝わると信じております。どうかよろしく願い申し上げます。

17NSJ参加に向けて 各地区の取り組み

8月の第17NSJへの参加に向け各地区の参加隊が準備、訓練に励んでいます。

香取東総地区



17NSJに向けて

私たちの隊ではボーイスカウト1年目のスカウトもいるため17NSJに向けて基礎となるテントの建て方などの訓練から大会の活動のメインメニューになる班旗立てなど幅広い分野で訓練を行っています。

プログラムに関しては非常に興味深く、キャンプのことだけではなく様々な学びがあると期待しているとともに、自分たちで協力してジャンボリーを成功させなければという思いで緊張しています。

これからも私たちは訓練を怠らず、それぞれの絆を深め、上級生は下級生に様々な場面で手本となり良い状態でジャンボリーに臨めるよう頑張ります。

17NSJに向けて

香取第1団 ボーイ隊 石田 大輝
「あなたを、17NSJエミュー班の班長に任命します」隊長に任命され僕は、班長になりました。原隊でも班長をやっていますが、別の緊張や不安が押しよせてきました。まず第1回目の班集会を開きました。内容は班旗制作です。班員とコミュニケーションをとり良い雰囲気のまま、班集会は終わりました。

そして、第1回目の訓練キャンプを向かえました。班集会もできたから、成功する。そう思い参加しました。しかし、課題もたくさん残りました。2回目の訓練キャンプの、反省を生かし、次のキャンプに生かしたいです。

17NSJの全日程を楽しむために、技術を上げ、コミュニケーションをとり、本番にそなえたいです。

香取第1団 ボーイ隊 石田 大輝

市川第6団 ベンチャー隊 岩元 景

市川・浦安地区



17NSJに向けて

私たちの隊ではボーイスカウト1年目のスカウトもいるため17NSJに向けて基礎となるテントの建て方などの訓練から大会の活動のメインメニューになる班旗立てなど幅広い分野で訓練を行っています。

プログラムに関しては非常に興味深く、キャンプのことだけではなく様々な学びがあると期待しているとともに、自分たちで協力してジャンボリーを成功させなければという思いで緊張しています。

これからも私たちは訓練を怠らず、それぞれの絆を深め、上級生は下級生に様々な場面で手本となり良い状態でジャンボリーに臨めるよう頑張ります。

17NSJに向けて

私は上班として今回17NSJに参加するにあたり、自分の経験や技能を活かしていきたいと思えます。そのための訓練キャンプでの経験が大事だと思います。

訓練キャンプでのテント設営では、各班とも今までの知識を活かし建てられていました。しかし自分の仕事が終わると遊んでしまったりなど自分で考え仲間に協力することが足りないと感じました。撤営でも同じことが言えました。

食事作りでは先輩が後輩に火の起こし方を教えたり、食材の切り方などを見せてみたりと上級者の先輩としての意識や進化したばかりのスカウトは覚えようとするなどの進歩が少しづつ表れていました。この短いキャンプの中でも良い点や反省点が見つけれられたと思います。班長は更に良く全体を見て役割分担を行い何もしていないスカウトを出さないことが大切だと思います。班員もそれを見て自分の出来ることを探ることが班長と共に、これからの課題だと思います。良い点は班を越えての仲間意識があり、とても大切だと感じました。全体としても時間を見ての行動、メリハリが足りないと感じたので訓練を通して学んでいきたいと思えます。

まだ課題は多いけれど少しづつ経験を積んでいき、17NSJを充実させていきたいと思えます。

佐倉第2団 ベンチャー隊 菅生 志温

印旛地区



17NSJにむけて

みなさん、17NSJにむけて頑張って訓練していますか。僕は今、班長としての訓練をしています。

17NSJではいつもとは違う班になったため大変です。だから、班員にしっかりと指示をだし早く課題等を終わらせられるようにし、班を引っ張っていけるように頑張りたいです。そして、17NSJではキャンプ期間が長いので、みんな健康に最初から最後まで楽しめるようにしていきたいです。さらに、僕自身も17NSJを通して日頃できないような体験をして、成長をしていきたいと思えます。そのために、普段の訓練をしっかりとやっていきたいです。

ぜひ皆さんも訓練をしっかりやり、一緒に17NSJを楽しみましょう。

市原第7団 ボーイ隊 中谷 蒼太

上総地区



千葉地区



17NSJにむけて

僕は17NSJの訓練キャンプで主に設営や炊事に力を入れています。その理由は、17NSJが長期キャンプだからです。設営をしっかりやらないと雨や強風で夜寝る場所がなくなってしまうたり、炊事を失敗すると次の日の体力がなくなり、楽しく活動ができなくなるからです。

僕が17NSJで不安に感じていることは予定通りにプログラムを進められるかどうかです。17NSJでは楽しみにしている沢山のプログラムが計画されているので、朝の点検や夕方の点検に遅れてプログラムに参加できなくなるようなことがないようにしたいです。そのために、口で指示をするだけでなく、次にやるべき行動を紙にまとめるなどして皆に伝わりやすい方法を実行し、予定通りに進められるようにしていきたいです。

千葉第6団 ボーイ隊 竹村 旭陽

初めての17NSJ

船橋第20団 ベンチャー隊 秋元 健

船橋地区

①訓練キャンプ等ががんばっていること

今回僕は上級班長として参加します。上班は、指導者側とスカウト側をつなぐパイプ役なので、コミュニケーションを良く取って仲を深めることはもちろん、より良いジャンポリーにする為、隊のみんなと毎回楽しみながら技術を磨いています。

②プログラムに期待すること

千葉から能登に行く機会は少ないので、能登の伝統文化に触れる事の出来るプログラムが楽しみです。

③不安に感じていること

17NSJは、6泊7日という長い期間です。病気やケガ等でスカウトの身に何か起こるのではないかと、不安に感じています。小学生のスカウトも多くいます。上班として心の準備をして「そなえよつねに」で参加します。



東葛地区



二度目のジャンポリー 繋げるために

我孫子第2団 ベンチャー隊 藤代 堅心

今回二度目の参加になるジャンポリー、1回目は山口市から浜に参加しました。大きな不安を抱きながら向かいましたが、様々な事を学び沢山の人達との交流もでき、とても貴重な体験が出来ました。

4年の時を経て、大きな好奇心と少しの不安をもって上級班長として行く事になり高校の勉強や部活との両立であまり訓練キャンプには参加することは出来ず本当に皆をまとめられるか心配だった時がありました。しかし、ボーイスカウトの時に学んだ経験や隊からの上級班長として行かせてもらえる信頼、これらの支えによって自信を持つことができ、より一層17NSJに行く事の楽しみが増えました。

帰ってきた時には、胸を張って楽しかった！と言えるように全力で取り組みたいと思います。

楽しいジャンポリー

君津第2団 ボーイ隊 福山 虹歩

私が17NSJ訓練キャンプで一番頑張っている事は「技能の向上と仲間との信頼関係」を作ることです。訓練キャンプを通して薪割りや国旗の掲揚など沢山の事を学びました。他団の仲間とも初めは仲良くなれるか不安でしたが、今は気軽に話せるようになりました。プログラムではいろいろな人との交流を深めエキスカーションプログラムにも挑戦してみたいです。

17NSJで不安に感じている事は、自分の隊は少し時間にルーズなので、メリハリをつけて行動できるようにしたいです。

訓練キャンプで学んだ事を8月に開催される17NSJで生かし、交流を深め、一生に一度の忘れられない思い出をつくらせてほしいです。

南総地区



北総地区



上級班長として

流山第4団 ベンチャー隊 中村 匠

私たちの隊は約半数がカブスカウトから上がってきた初級スカウトなので、基礎訓練が主体の訓練キャンプになっています。そのため初級スカウトは、技術をどんどん習得してきており、上級スカウトはスピードが上がっています。それにより隊全体に本番への期待が高まっています。

世界ジャンポリーや過去の日本ジャンポリーを経験している先輩の体験談を聞いたりして当日のプログラムにワクワクしているスカウトも多く、正直私も楽しみにしています。しかし、班によって初級スカウトの人数も違うため、その差を本番までにどれだけ埋めることができるかが本番でどれだけ充実したキャンプ生活ができるかに繋がると思います。

心に残る国内外のスカウトとの交流

八千代第2団 スカウトクラブ 浮谷 駿宏

ついに4年に一度の大イベント、日本ジャンポリー（以下NJ）が近づいて参りました。今回の会場は2006年に行われた14NJでも使用された会場でもあり、今回はその14NJにて参加隊の上級班長として参加した経験を少しお話しします。

まず、会場に到着しバスから降りた瞬間から大会終了まで、千葉には無い、刺すような日差しが私たちを待っていました。立っただけでも体力が奪われる中、日差しを遮るものがないジャンポリーのテントサイトでは、タープテント等の日陰の確保やよこまめな水分補給等が大変重要でした。また、千葉県派遣隊制帽の首あては熱中症対策に役に立ちました。

次に印象に残っているのが日本のみならず世界中のスカウト達との交流です。ジャンポリーでは様々な国や地域からスカウトが参加しており、会場各地ではワッペンの交換や他地域の隊同士の交流会が多く行われています。それまでは違う地域のスカウトとの会話や外国語、方言等に触れる機会は少なかったので大変貴重な経験となりました。実際に私も会場で知り合った他県の隊の上級班長と話し合い、その日に隊同士で交流会を行うこともありました。期間中様々な国や地域のスカウトと積極的に交流したことが、その後のスカウト活動や普段の生活に大いに活かされており。

ジャンポリーはたった一週間という期間ですが、日本や世界の仲間たちと過ごした経験は必ず一生の思い出になります。思い切り楽しんで来てください！

松戸・鎌ヶ谷地区



17NSJへの意気込み

鎌ヶ谷第1団 ベンチャー隊 加藤 夢

2016年に行われた、第20回記念千葉県キャンポリーに私は班長として参加しました。

班長として初の長期キャンプ。そこでは多くの課題が見つかりました。班員を上手くまとめ、指揮できなかったこと。チェックが足りず、班員が怪我をしてしまったこと。そして何よりも、班長としての自覚があまり無かったこと。様々な反省を残したまま、あっという間にベンチャーへと上進してしまいました。

今回の17NSJは、その反省を生かし、キャンプをよりよいものにしていく絶好の機会だと思っています。また、上進して1番年下としてのキャンプでもあります。まだまだベンチャーとしての経験が浅く、新たに学ぶことも多々あると思います。

八千代・習志野地区

きじ章 受章おめでとうございます

鈴木 國夫 千葉県連盟顧問に「きじ章」

平成30年5月のボーイスカウト日本連盟全国大会で、鈴木顧問に「きじ章」が贈られました。

「きじ章」は「日本におけるスカウト運動に対し、多年にわたり特に功績顕著な方」に贈られる最高の功労章です。

鈴木顧問は、昭和25年にボーイスカウトとして市原第1隊に入隊し、昭和33年からは同団の指導者としてスカウト運動の道を歩み始められ、昭和54年千葉県連盟コミッショナー、平成12年から理事長、引き続き連盟長を歴任、更に日本連盟にあっては総コミッショナーをはじめ要職を歴任、わが国のスカウト運動の発展に尽力されました。

現在はスカウト運動に高度な助言を行う、日本連盟顧問・先達および千葉県連盟顧問となっております。このような60年の永年の功績が評価され、本県出身者としては初めての受章となりました。

「きじ章」は、これまでに国内では今上陛下、皇太子殿下そして日本連盟顧問の吉田茂元首相や日本連盟総裁の石坂泰三経団連総裁等67人に贈られており、鈴木顧問は68人目の受章となります。

きじ章を受章された鈴木顧問は、「千葉県連盟をはじめ全国の加盟員の皆様のお蔭で、図らずも拝受いたしました。感謝と感激でいっぱいです。「ちかい」を立てて68年、スカウト運動の原点を忘れることなく、日本連盟100周年記念史の編纂など残された任務に全力を尽くしていきたい」とお話しされました。



募集活動報告 松戸・鎌ヶ谷地区

鎌ヶ谷地域『元気なちびっこ あつまれ～』

- ・平成30年4月22日（日）10時から12時30分
- ・場所 鎌ヶ谷市「貝柄山公園」
- ・参加児童数54家族74名 スカウトの参加15名 総計89名
入隊者1名、体験入隊希望1件、見学希望3件、イベントへの案内希望15件。



松戸地域『みんなで遊ぼう!!自然体験学級』

- ・平成30年5月13日（日）10時から12時
 - ・場所 松戸市「21世紀の森と広場」光と風の広場
 - ・参加児童数76家族121名 スカウトの参加22名 総計143名
体験入隊希望10件、見学希望10件、イベントへの案内希望42件。
- 今回の活動では初めて松戸・鎌ヶ谷両地域の募集活動が「地区募集活動プロジェクト」として統一ユニットで行なわれました。今後の各団のフォローをしていきます。

【参加者アンケートからのご意見・感想を紹介します】

4月22日『元気なちびっこあつまれ～』

- 『楽しく参加させていただきました。皆様お世話になりました』
- 『大変楽しかったので、もっと体験させてみたいと思います』
- 『今日申込書を書きました』

5月13日『みんなで遊ぼう!!自然体験学級』

- 『ロープの結び方、とても参考になり子供よりも親がワクワクしました！「娘の靴の脱ぎ方が上手」と表彰して頂きました！かわいいふくろうをもらい、すごくうれしかったです。その後シート移動の際も得意気にくつを脱ぎ並べていました。ありがとうございます。』



【発行者】

日本ボーイスカウト千葉県連盟
千葉県千葉市稲毛区天台6-5-2
青少年女性会館内 043-287-1755
運動拡充委員会 編集責任 山本 勲

お問い合わせは